



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 積水化成工業株式会社
 コード番号 4228 URL <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 恵造

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 藤原 敬彦

TEL 06-6365-3014

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券会社アナリスト、機関投資家ファンドマネージャー向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	52,345	7.5	680	143.5	767	—	524	—
25年3月期第2四半期	48,673	△3.2	279	△75.4	51	△94.6	△134	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,058百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 126百万円 (△78.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.58	—
25年3月期第2四半期	△1.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	106,136	52,471	48.6
25年3月期	105,562	50,929	47.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 51,625百万円 25年3月期 49,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	6.1	2,500	117.0	2,450	98.0	1,600	72.7	17.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	95,976,218 株	25年3月期	95,976,218 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,985,544 株	25年3月期	1,983,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	93,991,793 株	25年3月期2Q	93,995,750 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日)の日本経済は、円高是正による輸出環境の改善や各種政策効果などで、景気が緩やかに回復しつつあります。日本の発泡プラスチック業界におきましては、円高是正による原燃料価格の高騰や電気料金値上げの影響などが収益を圧迫し、厳しい収益環境となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは平成25年度から3カ年中期経営計画「E N S 2 0 0 0 - C h a l l e n g e」を策定し、連結売上高目標1,200億円の再チャレンジに向け、施策を着実に推進しております。当第2四半期は、生活分野の需要低調と価格改定の遅れがあった一方で、工業分野の日本での需要回復とグローバル展開の進展、さらに全グループあがての徹底したコスト削減にも継続して取り組みました。その結果、売上高は523億4千5百万円(前年同期比7.5%増)と増収となり、営業利益は6億8千万円(前年同期比143.5%増)、経常利益は7億6千7百万円(前年同期比14.8倍)、四半期純利益は5億2千4百万円(前年同期は四半期純損失1億3千4百万円)と利益が改善しました。

以下、各セグメントの状況は次のとおりであります。

<生活分野>

生活分野の売上高は344億4千2百万円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益は4億4千9百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

水産関連や食品・流通関連などの需要は全般的に低調に推移しました。また、前年度後半で高騰した原材料価格に対する製品価格の改定については、グループ会社での成形加工品を中心に遅れが生じました。「エスレンビーズ」(発泡性ポリスチレンビーズ)や、「エスレンシート」(発泡ポリスチレンシート)は、売上数量は前年同期を下回ったものの、関連商品の売上増により売上金額は前年同期をやや上回りました。

<工業分野>

工業分野の売上高は179億3百万円(前年同期比15.7%増)、セグメント利益は8億5千8百万円(前年同期比117.5%増)となりました。

自動車関連では、「ピオセラン」(ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体)を用いた部品用途において、日本での着実な採用拡大と米国での新規受注の効果で好調に推移しました。家電・IT関連では、液晶・タッチパネル搬送用途において日本で回復基調となった一方で、中国での需要伸長は鈍化しました。「テクポリマー」(有機微粒子ポリマー)は、液晶パネルなど光拡散用途での需要が回復し、照明など新たな用途での需要開拓も寄与し売上高は大幅に増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,061億3千6百万円(前連結会計年度末比5億7千3百万円増)となりました。資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少などにより11億7百万円減少し、固定資産は投資有価証券の増加などにより16億8千万円増加しました。一方、負債の部では、支払手形及び買掛金の減少などにより流動負債が19億6千4百万円減少し、長期借入金の増加などにより固定負債が9億9千6百万円増加しました。純資産は、524億7千1百万円となり、15億4千1百万円増加しました。自己資本比率は48.6%となりました。

当第2四半期連結結果計期間におけるキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増減額の影響などにより、前年同期に比べ8億3千万円収入が減少し、11億1千7百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得の減少などにより、前年同期に比べ5億9千9百万円支出が減少し、13億8千7百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済が増加したことなどにより、前年同期に比べ3億6千8百万円支出が増加し、8億9千9百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ9億5千9百万円減少(前年同期比5億7千4百万円減少)し、56億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期までの連結業績の進捗および第3四半期以降の市場環境動向等を踏まえ、平成25年7月30日に公表した平成26年3月期連結業績予想を変更しております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,681	5,653
受取手形及び売掛金	29,546	28,846
商品及び製品	6,215	6,802
仕掛品	144	171
原材料及び貯蔵品	2,196	2,260
その他	1,935	1,873
貸倒引当金	△44	△40
流動資産合計	46,674	45,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,360	14,294
機械装置及び運搬具（純額）	8,634	8,598
土地	20,021	20,286
その他（純額）	2,663	2,580
有形固定資産合計	45,680	45,761
無形固定資産		
その他	650	690
無形固定資産合計	650	690
投資その他の資産		
その他	12,690	14,240
貸倒引当金	△133	△123
投資その他の資産合計	12,556	14,116
固定資産合計	58,888	60,568
資産合計	105,562	106,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,566	16,769
電子記録債務	5,470	5,359
短期借入金	12,066	11,506
未払法人税等	440	257
賞与引当金	745	759
役員賞与引当金	7	13
製品補償引当金	77	59
その他	4,769	4,454
流動負債合計	41,145	39,181
固定負債		
長期借入金	6,425	6,916
退職給付引当金	2,205	2,292
その他	4,856	5,274
固定負債合計	13,487	14,483
負債合計	54,633	53,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	17,261	17,261
利益剰余金	12,531	12,679
自己株式	△654	△655
株主資本合計	45,671	45,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,532	4,446
土地再評価差額金	1,204	1,204
為替換算調整勘定	△419	155
その他の包括利益累計額合計	4,318	5,806
少数株主持分	940	845
純資産合計	50,929	52,471
負債純資産合計	105,562	106,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	48,673	52,345
売上原価	38,921	42,477
売上総利益	9,752	9,868
販売費及び一般管理費	9,472	9,187
営業利益	279	680
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	95	103
持分法による投資利益	—	0
為替差益	—	194
その他	82	55
営業外収益合計	181	359
営業外費用		
支払利息	82	92
持分法による投資損失	14	—
為替差損	105	—
その他	207	180
営業外費用合計	409	273
経常利益	51	767
特別利益		
投資有価証券売却益	31	63
その他	—	0
特別利益合計	31	63
特別損失		
貸倒引当金繰入額	0	3
課徴金	82	—
投資有価証券評価損	6	—
その他	13	—
特別損失合計	102	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19	827
法人税等	113	277
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△132	550
少数株主利益	2	25
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△134	524

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△132	550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	206	913
為替換算調整勘定	53	594
その他の包括利益合計	259	1,507
四半期包括利益	126	2,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120	2,012
少数株主に係る四半期包括利益	6	45

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19	827
減価償却費	1,814	1,854
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△108	△18
受取利息及び受取配当金	△99	△109
支払利息	82	92
持分法による投資損益(△は益)	14	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	116	84
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△169	13
製品補償引当金の増減額(△は減少)	△10	△17
投資有価証券売却損益(△は益)	△31	△63
投資有価証券評価損益(△は益)	6	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,772	1,378
たな卸資産の増減額(△は増加)	297	△598
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,588	△1,327
その他	△501	△689
小計	1,549	1,433
利息及び配当金の受取額	105	97
利息の支払額	△71	△79
保険金の受取額	14	1
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	350	△334
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,947	1,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△84	△0
定期預金の払戻による収入	6	83
有形固定資産の取得による支出	△2,093	△1,637
有形固定資産の売却による収入	73	70
投資有価証券の取得による支出	△68	△2
投資有価証券の売却による収入	120	101
貸付けによる支出	△3	△6
貸付金の回収による収入	19	18
その他	43	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,987	△1,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△339	△142
長期借入れによる収入	300	196
長期借入金の返済による支出	△80	△232
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△282	△376
少数株主への配当金の支払額	△7	△139
その他	△120	△204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△531	△899
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△568	△959
現金及び現金同等物の期首残高	6,745	6,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,176	5,602

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,205	15,468	48,673	—	48,673
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,358	1,122	2,480	△2,480	—
計	34,563	16,590	51,154	△2,480	48,673
セグメント利益	572	394	967	△915	51

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△915百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△917百万円、固定資産未実現利益0百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,442	17,903	52,345	—	52,345
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,269	805	2,074	△2,074	—
計	35,712	18,708	54,420	△2,074	52,345
セグメント利益	449	858	1,307	△540	767

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△540百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△540百万円、固定資産未実現利益0百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル